

Blue Winds ロゴタイプお披露目式 「タイダイの中までイッテ Sweets!」を開催



ロゴ作成に携わった高校生と

お披露目式の後には「Blue Winds」

また、ロゴタイプは大学スポーツの振興として地域の活性化を目指す様々な取り組みに活用していく予定です。

今後、このロゴタイプは大学スポーツの振興として地域の活性化を目指す様々な取り組みに活用していく予定です。

また、ロゴタイプは大学スポーツの振興として地域の活性化を目指す様々な取り組みに活用していく予定です。

今後、このロゴタイプは大学スポーツの振興として地域の活性化を目指す様々な取り組みに活用していく予定です。

今後、このロゴタイプは大学スポーツの振興として地域の活性化を目指す様々な取り組みに活用していく予定です。

平成31年1月14日、地域密着スポーツブランド「Blue Winds」のロゴタイプ完成のお披露目式を実施しました。お披露目式の後に行われたスイーツイベントの参加者を含め約330名が集まりました。

今回作成したロゴタイプは、鹿屋体育大学と鹿屋市が取り組んでいる「日本版NCAA」「KANNOYAモ」

スタートの合図で一斉にミッションを探しに駆け出した参加者たちは、学生が考案したミッションに四苦八苦しながら、親子・友達と知恵を出し合い協力しながら一生懸命に取り組みました。また、



スイーツをゲットし嬉しそうな参加者たち



1位ゴールの参加者



各課外活動からのミッションに挑む参加者たち

明治維新150周年や西郷どんフィーバーに沸いた2018年も終わり、新たな年がスタートした。昨年は、スポーツでも、鹿屋ユナイテッドFCのJ2昇格やサッカーの大迫選手を始め鹿屋島出身のスポーツ選手の世界の舞台での活躍など鹿屋島の躍進が話題だった。そして来年は、東京2020オリンピック・パラリンピック、さらにかしま国体の開催が予定されている。頂点をめざすアスリートたちにとって、2019年はその一日一日が栄光の架橋に直結する大切な一年となることだろう。こゝ鹿屋体育大学でも、多くの学生たちが世界の舞台を夢見て日々精進し、活躍している。彼ら、彼女らの2020年での活躍も大いに期待し、心からエールを送ります。また、鹿屋島の観光振興にとっても、かしま国体の開催が東京2020オリンピック・パラリンピックと同じ年に開催されるのは絶好の好機となるだろう。特にここ大隅は昨年の大河ドラマ「西郷どん」のオープニング映像でも話題になった雄川の滝（南大隅町）のような美しく豊かな自然や、和牛日本一となった鹿屋島黒牛などの魅力的な観光資源にあふれている。世界の注目が日本に集まる中、2019年はこうした大隅の魅力を国内外に発信し続けることが、2020年のインバウンドや県外からの観光客の増加に結びつくのではないだろうか（R・I）

明治維新150周年や西郷どんフィーバーに沸いた2018年も終わり、新たな年がスタートした。昨年は、スポーツでも、鹿屋ユナイテッドFCのJ2昇格やサッカーの大迫選手を始め鹿屋島出身のスポーツ選手の世界の舞台での活躍など鹿屋島の躍進が話題だった。そして来年は、東京2020オリンピック・パラリンピック、さらにかしま国体の開催が予定されている。頂点をめざすアスリートたちにとって、2019年はその一日一日が栄光の架橋に直結する大切な一年となることだろう。こゝ鹿屋体育大学でも、多くの学生たちが世界の舞台を夢見て日々精進し、活躍している。彼ら、彼女らの2020年での活躍も大いに期待し、心からエールを送ります。また、鹿屋島の観光振興にとっても、かしま国体の開催が東京2020オリンピック・パラリンピックと同じ年に開催されるのは絶好の好機となるだろう。特にここ大隅は昨年の大河ドラマ「西郷どん」のオープニング映像でも話題になった雄川の滝（南大隅町）のような美しく豊かな自然や、和牛日本一となった鹿屋島黒牛などの魅力的な観光資源にあふれている。世界の注目が日本に集まる中、2019年はこうした大隅の魅力を国内外に発信し続けることが、2020年のインバウンドや県外からの観光客の増加に結びつくのではないだろうか（R・I）

明治維新150周年や西郷どんフィーバーに沸いた2018年も終わり、新たな年がスタートした。昨年は、スポーツでも、鹿屋ユナイテッドFCのJ2昇格やサッカーの大迫選手を始め鹿屋島出身のスポーツ選手の世界の舞台での活躍など鹿屋島の躍進が話題だった。そして来年は、東京2020オリンピック・パラリンピック、さらにかしま国体の開催が予定されている。頂点をめざすアスリートたちにとって、2019年はその一日一日が栄光の架橋に直結する大切な一年となることだろう。こゝ鹿屋体育大学でも、多くの学生たちが世界の舞台を夢見て日々精進し、活躍している。彼ら、彼女らの2020年での活躍も大いに期待し、心からエールを送ります。また、鹿屋島の観光振興にとっても、かしま国体の開催が東京2020オリンピック・パラリンピックと同じ年に開催されるのは絶好の好機となるだろう。特にここ大隅は昨年の大河ドラマ「西郷どん」のオープニング映像でも話題になった雄川の滝（南大隅町）のような美しく豊かな自然や、和牛日本一となった鹿屋島黒牛などの魅力的な観光資源にあふれている。世界の注目が日本に集まる中、2019年はこうした大隅の魅力を国内外に発信し続けることが、2020年のインバウンドや県外からの観光客の増加に結びつくのではないだろうか（R・I）

明治維新150周年や西郷どんフィーバーに沸いた2018年も終わり、新たな年がスタートした。昨年は、スポーツでも、鹿屋ユナイテッドFCのJ2昇格やサッカーの大迫選手を始め鹿屋島出身のスポーツ選手の世界の舞台での活躍など鹿屋島の躍進が話題だった。そして来年は、東京2020オリンピック・パラリンピック、さらにかしま国体の開催が予定されている。頂点をめざすアスリートたちにとって、2019年はその一日一日が栄光の架橋に直結する大切な一年となることだろう。こゝ鹿屋体育大学でも、多くの学生たちが世界の舞台を夢見て日々精進し、活躍している。彼ら、彼女らの2020年での活躍も大いに期待し、心からエールを送ります。また、鹿屋島の観光振興にとっても、かしま国体の開催が東京2020オリンピック・パラリンピックと同じ年に開催されるのは絶好の好機となるだろう。特にここ大隅は昨年の大河ドラマ「西郷どん」のオープニング映像でも話題になった雄川の滝（南大隅町）のような美しく豊かな自然や、和牛日本一となった鹿屋島黒牛などの魅力的な観光資源にあふれている。世界の注目が日本に集まる中、2019年はこうした大隅の魅力を国内外に発信し続けることが、2020年のインバウンドや県外からの観光客の増加に結びつくのではないだろうか（R・I）



編集・発行／
公益財団法人 鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
〒891-2393 鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学内
0994-46-4827 (直)
編集兼発行人 風呂井 敬

めに走りまわりました。クイズの全問正解の目標を達成して嬉しい」と笑顔で語りました。他にも「ミッションを解くのが楽しかった。また色々な課外活動の練習風景を見ることができて楽しかった」「課外活動を間近で見ることができた。これからはイベントがあれば来てみたい」という声も聞かれるなど大いに盛り上がった一日となりました。

スポーツを愛する
すべての人とともに

ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの振興・普及を目指し、
スポーツを愛する人たちを応援しています。

公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

日本野球科学研究会第6回大会
藤谷雄平さん 大会賞受賞

平成30年12月に「子どもたちへ伝えたい」野球の未来を語ろう」をテーマに開催された日本野球科学研究会第6回大会において、鹿屋体育大学スポーツ国際開発学共同専攻修士課程2年の藤谷雄平さんが大会賞を受賞しました。

により野球関係者の方にスポーツを通じて国際開発を少しでも認知していただいたことを嬉しく思います。この研究は現在まだ第一段階で、今後対象地域を広げ、より探究的に調査を行い、開発途上国における野球の普及方法等を提言していきたい」と喜びと今後の抱負を述べました。

また、指導教員である山田理恵教授は「『スポーツ国際開発学』という新領域を専攻する修士課程の院生として、この領域の研究成果の蓄積に寄与できたことは喜ばしいことです。本人は本学大学院博士後期課程への進学が決定しており、研究のさらなる発展が期待されます」と激励しました。



学長表敬にて
(左から松下雅雄学長、藤谷雄平さん、山田理恵教授)

平成31年1月12日、鹿屋体育大学同窓会と鹿屋体育大学との意見交換会が福岡県で開催されました。

この意見交換会は、同窓生から大学に対する意見や要望等を直接聞くことで、今後の大学のあり方に活かすことを目的に、鹿屋体育大学及び同大学同窓会が共同で実施しているもの。当日はおよそ30名の同窓生の方々が参加され、同大学からは松下雅雄学長、森司朗理事と、同大学同窓生でもある萩田太学長補佐、濱田幸二学長補佐が出席しました。

会ではまず松下学長からの挨拶に始まり、森理事から同大学の現状について、教育研究活動を中心とした詳しい説明があった後、学生支援担当の濱田学長補佐から学生生活に関する報告がありました。その後、同窓会役員を務める同大学北村尚浩准教授の司会により意見交換を開始。今回参加された同窓生の中には、現職教員など何らかの形で学校教育に関わっている方が多く、同大学の教育や入試等に関する話題を中心とした意見・要望が多く寄せられました。いただいた意見・要望に対し、松下学長、森理事をはじめとする大学関係者が、一つひとつ回答する形式で約1時間、意見交換が行われ、盛況のうち閉会となりました。

同窓会との意見交換会を開催

平成31年1月12日、鹿屋体育大学同窓会と鹿屋体育大学との意見交換会が福岡県で開催されました。

ついで、教育研究活動を中心とした詳しい説明があった後、学生支援担当の濱田学長補佐から学生生活に関する報告があり



就職活動が始まります！

力の野球競技力の現状を明らかにするため、コストリカ共和国のS野球協会の野球選手146名を対象に、球速やスイングスピードなどのパフォーマンス測定および新体力テストを実施し、結果をまとめたものです。

藤谷さんは、「今回の受賞

る修士課程の院生として、この領域の研究成果の蓄積に寄与できたことは喜ばしいことです。本人は本学大学院博士後期課程への進学が決定しており、研究のさらなる発展が期待されます」と激励しました。



学長表敬にて
(左から松下雅雄学長、藤谷雄平さん、山田理恵教授)

平成31年1月12日、鹿屋体育大学同窓会と鹿屋体育大学との意見交換会が福岡県で開催されました。

この意見交換会は、同窓生から大学に対する意見や要望等を直接聞くことで、今後の大学のあり方に活かすことを目的に、鹿屋体育大学及び同大学同窓会が共同で実施しているもの。当日はおよそ30名の同窓生の方々が参加され、同大学からは松下雅雄学長、森司朗理事と、同大学同窓生でもある萩田太学長補佐、濱田幸二学長補佐が出席しました。

会ではまず松下学長からの挨拶に始まり、森理事から同大学の現状について、教育研究活動を中心とした詳しい説明があった後、学生支援担当の濱田学長補佐から学生生活に関する報告がありました。その後、同窓会役員を務める同大学北村尚浩准教授の司会により意見交換を開始。今回参加された同窓生の中には、現職教員など何らかの形で学校教育に関わっている方が多く、同大学の教育や入試等に関する話題を中心とした意見・要望が多く寄せられました。いただいた意見・要望に対し、松下学長、森理事をはじめとする大学関係者が、一つひとつ回答する形式で約1時間、意見交換が行われ、盛況のうち閉会となりました。

同窓会との意見交換会を開催

平成31年1月12日、鹿屋体育大学同窓会と鹿屋体育大学との意見交換会が福岡県で開催されました。

ついで、教育研究活動を中心とした詳しい説明があった後、学生支援担当の濱田学長補佐から学生生活に関する報告があり



2020年3月卒業の学生は、3月の就職活動解禁を間近に、就職活動準備が大詰めになってきています。

鹿屋体育大学では、12月8 援しています。

日・9日の2日間、3年生を対象に就職活動のみならず、働き方においても「気づき」を得る機会として好評の「就職塾」が開催されました。今回は10月に続きキャリアコンサルタントの斉藤淳郎氏を講師に招きました。自己分析、履歴書作成のポイント、個別カウンセリング、面接・グループディスカッション実践などを通じ、学生自らの経験（強み）をどのように具体的に伝えるかといった内容の講義や、キャリアアトランプを使っ

たグループワーク等が行われました。2020年3月卒業の学生の皆さんが就職選考や採用試験をスムーズに臨めるよう、応援しています。

また、1月22日にはCOC+推進事業「第3回企業・自治体等との懇談会」が開催されました。COC+とは、地域が求めた人材を大学が企業や自治体等と協働して、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的としているものです。この懇談会は平成28年度から取り組んでおり、学生も同席して今年度は5つの企業や自治体との意見交換を行いました。終了後も積極的に質問をしている学生の姿が見られました。

援えています。

鹿屋体育大学では、平成31年1月8日、「平成30年度学長と指導教員、留學生との懇談会」を開催しました。この懇談会は、留學生の日頃の勉強や研究の状況、悩みや要望について、学長及び理事、指導教員へ伝えることで、より良い留學生生活が送れるように、毎年開催しているものです。

松下雅雄学長の挨拶の後、留學生及びチューターからの現状報告と、フリートークを行い、大學生生活において英語のサポートが欲しいことや、鹿屋市で生活する上で交通手段の情報が少し分かりづらいこと、もっと日本人と交流するために

学部生との懇談会の開催や、課外活動団体の紹介と参加を促してほしいといった要望がありました。また一方で、同大学や鹿屋市主催の様々な行事へ参加できて楽しく留學生活を送っていること、勉強や研究活動は順調に進んでおり悩みはないことと、チューター活動が自分のためにもなっていることなど嬉しい意見もありました。

学長及び理事、指導教員、留學生、チューターが揃って直接会話できる本懇談会は、参加者にとつて大変有益な機会となっており、今後の留學生生活の改善に役立つことが期待されます。懇談会の

「学長と指導教員、留学生との懇談会」を開催

最後には、森国際交流担当理事・副学長から激励の言葉をいただき、盛会のうちに終了しました。



活発な意見交換が行われた懇談会の様子

大型二種免許から
大型二輪免許まで
取得可能です



大型二種・普通二種・大型一種・中型一種・大型特殊
普通一種・大型二輪・普通二輪・AT限定解除・中型限定解除

KANOYA DRIVING SCHOOL
鹿屋自動車学校

送迎バスも
ご利用できます

入 校 日
毎週水曜日・土曜日
AM 8:30~9:00
PM 1:00~1:20

〒893-0057
鹿屋市今坂町10115番地
TEL (0994) 43-4141

すべての消費者のために!!



汲取の御注文 浄化槽の管理



株式会社 西日本浄化サービス
 代表取締役 田中ふみ子
 鹿屋市王子町4531-2
 TEL (0994) **43-3425**

あなたの町に、レモンガス

株式会社**レモンガス**かごしま
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181



読売ジャイアンツ 今村信貴選手、橋本篤郎選手 SPセンターで測定実施

平成30年12月27日、読売ジャイアンツの今村信貴選手、橋本篤郎選手、木佐貫洋コーチ、久村浩太郎の4名が鹿屋市と連携、協力して取り組む「スポーツ合宿まちづくり推進事業」の一環で鹿屋市を訪れ、鹿屋市立体育大学のスポーツパフォーマンス研究センター（以下「SPセンター」）で測定を行いました。

今村投手は大阪府出身で太成学院大高校から平成23年のドラフト2位で読売ジャイアンツに入団し、昨シーズンは1軍で自身初の完封勝利を収めるなど活躍しています。一方、橋本投手は熊本県出身で鎮西高校から平成27年の育成ドラフトで育成選手として読売ジャイアンツに入団し、今後の活躍が期待されています。今村投手は、集まった選手たちが次々に差し出す色紙や帽子へのサインに声援を送っていました。サインや撮影をしても良かった子どもたちは、「すごく嬉しかった。これからテレビで活躍している姿を見たときには応援したい」「体が大きくなって力が入るようになった。握りも強くなった。プロ野球選手のようなふれあいに大満足でした。」



測定をする橋本選手



サインに応える今村選手達

鹿屋体育大学OBによる 新春Jリーグサッカー教室開催

2019年1月7日、鹿屋体育大学のスポーツパフォーマンス研究センターにて、同大学OBを主とするJリーグによる新春Jリーグサッカー教室が開催されました。この教室は、シーズン前のトレーニング及び体力強化等のため、鹿屋市の「スポーツ合宿まちづくり推進事業」として訪れた同大学OB等のJリーガーが、将来のJリーガーを夢見る子どもたちと触れ合い、サッカーの発展や地域貢献を目的としたものです。SPセンター内で行われた小学生向けサッカー教室は、湘南ベルマーレの松田天馬選手、カマタマーレ讃岐の田中英雄選手、徳島ヴォルティスの大屋翼選手3名が担当し行われました。約80名の参加者を高学年と低学年に分けて、ウォーミングアップから基礎トレーニング、そしてミニゲームまで約2時間の短い時間でしたが、参加した子どもたちと一緒に駆け回りながら、細かに声をかけアドバイス。子どもたちは「プロ選手が目の前で練習するのは、大満足。嬉しかった」と大満足の参加者たちでした。



高学年チームに参加する田中選手



高学年チームに参加する松田選手



低学年チームで指導する大屋選手



MVP受賞の参加者と

課外活動団体紹介



ウインドサーフィン部

鹿屋体育大学ウインドサーフィン部です。私たちは現在、4年生3名、2年生3名、1年生4名で鹿屋体育大学海洋スポーツセンターを拠点に週5日活動しています。

学生主体での活動を目指し練習内容や年間の部活動の運営方針、チーム目標などを部員間で意見を出し合い決めています。

今年度の目標は2月に行われる全日本学生ボードセーリング選手権大学対抗戦で入賞することです。昨年度の冬季九州選手権では団体の部で3位という成績でしたが、今年度は団体の部では1位、個人の部では入賞者6名のうち3名が私たちの部員という結果を得ることができ、着実に大学対抗戦入賞に向けて成長できているという実感を得ることができました。しかし、まだまだ目標達成に

は程遠いと感じています。大学対抗戦まで時間は少ないですが、11月に行われた全日本学生ボードセーリング選手権個人戦に出場した選手や昨年から全国大会に出場している選手を中心に据え、チーム一丸となって全力で日々の練習に取り組んでいきます。

今年度のウインドサーフィン部のビッグニュースとして、4年生の穴見知典が今年新しくPWA(The Professional Windsurfers Association)で正式種目となったPWA フォイル部門で初代年間ユースワールドチャンピオンになりました。日本の選手がPWA レース種目で年間チャンピオンになったことは初めての事です。

このような華々しい結果に負けることなく全員で強くなれるように今後頑張っていきたいと思います。

何か物足りない、
何か決め手に欠く、
そんな“あと一歩”を
お手伝いします。

ヒューマン印刷に
株式会社 新生社印刷

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市札元1-22-34
TEL 0994-43-2238/FAX 0994-43-7541
URL <http://www.shinsei-p.co.jp>
E-mail kan@shinsei-p.co.jp



★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎
忙しい学校生活の強い味方です!!
★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

運転免許のことなら

心豊かな車社会を願う
寿自動車学校

ご予約・お問い合わせ TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp
〒893-0013 鹿児島県鹿屋市札元1-13-30 県公安委員会指定教習所(技能試験免除)
ホームページURL <http://kotobuki-ds.jp>



まっすぐに。正直に。

大湊酒造株式会社

〒893-0016

鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号

電話(0994)44-2190 FAX (0994)40-0950

○未成年の飲酒は法律で禁じられています。
○健康の為、飲み過ぎに注意しましょう。
○妊娠中、授乳期の飲酒はお控えください。
○飲酒運転は絶対にやめましょう。

